

ルール解説

ルールの理解は勝利への一歩だ!

試合運営委員会から選手の皆さんへ

第三回テーマ なんかに変だぞ、このプラン!? 否定編

遠い昔私たちも皆さんと同じ現役プレイヤーで
した。敗れて涙したあの日の記憶は、今も胸に鮮明に
刻まれています。卒業して審判・スタッフをやりなが
ら、あの時これが理解できていれば…と思う事は少な
くありません。そんな私たちだからこそ、今の選手に
知って欲しい事があります。そんなテクニクや、理
解されていないかも?と思えるルールについての解
説を、試合運営委員会より連載としてお届けします。

さて第三回は、引き続き論題とプラン、メリット、
デメリットの関係を解説していきます。相手のプラン
の使い方がおかしいと思っても対策がわからなかつ
たことはありませんか?「このプランはおかしい」と
主張しても認められなかったことはありませんか?
今回は、主に否定側の観点から注意して欲しいポイ
ントを解説したいと思います。

◆肯定側が論題を肯定できていない時

否定側は根拠をつけてそれを論証すべし

前回の解説では、『派遣労働を禁止します。企業に
は、派遣労働者の再雇用を義務付けます。』というプ
ランで、派遣労働者が再雇用され待遇が改善される
というメリットを主張しても、「派遣労働を禁止すべし
」と断言している以上、肯定側が勝つことはできないと
説明しました。では、これに対して否定側はどつした
らいいのでしょうか?

それは必ず、そう主張する事です。肯定側の言っ
たことを説明し、肯定側は本来の役割を果たしてない
、したがって仮にこのメリットが残ったとしても肯定
側の勝ちとはいえないと主張する必要があります。た
だ気をつけて頂きたいのは、これはどの主張とも変わ
らず、根拠を明確に示す必要があるという事です。
ではこの主張はいつしたら良いのでしょうか?第
一反駁でも良いですが、立論でもできます。否定側立
論の役割は、ルールにこう示されているからです。

ルール本則第2条1項
(前略)否定側立論は、現状維持の立場をとるものとし、主
に肯定側のプランからどのようなデメリットが発生する
かを論証するものとします。

つまり、否定側立論は「主に」デメリットを出すこ
とされているので、デメリット以外の論証をすることも
可能なのです。

◆論題を肯定できていないプランからでも発生するデメリットは意味がある!

先ほどのルールをもう一度見て下さい。否定側のデ
メリットは「肯定側のプランから」発生するものであ
れば良いとあります。肯定側のメリットが「論題を肯
定するためのプラン」から発生しなければならぬとい
われていたのと、なぜ異なるのでしょうか?

いくつかの考え方があられるポイントですが、そのうち
一つだけを紹介します。

競技プレイヤーには、引き分けはありません。肯定
側が「メリットがデメリットより大きい」ことを説明
できなければ、現状維持を主張する否定側が勝利しま
す。このため、否定側は必ずしも「デメリットがより
大きい」と主張する必要はなく、肯定側の主張を失敗
させるという戦略をとることもできます。

このとき、肯定側の主張は「論題を肯定するプラン
を提案する」このプランは望ましい(メリットがデメ
リットより大きい)↓論題を肯定」という流れになり
ます。ここで、このプランは望ましいと主張できなけ
れば肯定側は勝つことができません。したがって、肯
定側がプランで同時に提案した別の政策が大きなデ
メリットを発生させる場合であっても、「肯定側のプ
ランは全体としてみれば望ましくない。したがって、
肯定側は論題を肯定できていないから否定側の勝ち
だ」と主張することができます。

…難しい話になってしまいました。肯定側とち
がって否定側はプランのどの条項からでもデメリッ
トを主張できるということになります。

次回予告

さて今回は、前回に引き続き難しい内容を解説しま
した。今回は「各パートのやり方」について、特に誤
解されがちな質疑と第二反駁を中心に解説してい
たいと思います。